

令和5年度第3回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和5年6月28日（水） 午後2時00分～3時30分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、志村はるみ委員、棚橋明委員（以上10名）
4. 事務局 市民活動推進課・川島課長、本田、榎田、市民活動支援センター（指定管理者・東京ドームファシリティーズ）・伊藤、小嶋、北村、小林、清宮
5. 傍聴者 1名（定員5名）
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）令和4年度印西市市民活動支援センターの事業報告について
 - （2）令和5年度印西市市民活動支援センターの事業計画について
 - 3 その他
 - 4 閉会

7. 会議要旨

2 議題

- （1）令和4年度印西市市民活動支援センターの事業報告について

《事務局説明》

・資料1-1 令和4年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業報告書及び資料1-2 2022（令和4）年度市民活動支援センター利用者アンケート集計表について説明。

《委員質問》

・当日資料事前質問・意見一覧に基づき、質問や意見を共有。

・当日資料（1）1・内容について詳細は。

→助成金についての相談。訪問して謝罪【指定管理者】。

・当日資料（1）4・いろいろなジャンルの方からいろいろな意見や考え方が出たと思うので、そのなかで気づかなかった点を、これからの市民活動の活発化のために、見出されたのかどうか。

→ワガママ会議は、団体の枠にこだわらず市民個人の方にもつながりを持っていただく意味も込めて実施。団体の枠を超えて、いろいろな方々にグループになってもらって。日々の生活の中で、「本当はこうなったらいいのに」と思っているけれどあきらめたり我慢したりしていることをお互いに紹介しあい共有し、参加者全体がつながること解決できるのではないかという試みから、自分たちの持っているものでどう解決していくか、いろいろな分野から意見を出し合って解決に結びつけていった【指定管理者】。

→会議に参加した中で、新しい視点や気づきを感じている。ワガママ会議が市民活動の契機となる。会議運営の参考になる【事務局】。

- ・当日資料（１）５・千葉ニュータウン中央駅以外の駅は実施があるのか。
- 当該団体は千葉ニュータウン中央駅のみ。団体の自主的な活動を支援している【事務局、指定管理者】。
- ・当日資料（１）６・農業体験を実施してほしい。
- ・亀成川を愛する会で行っていると聞いている。
- 亀成川を愛する会では、田んぼ体験など行っている。【指定管理者】
- ・当日資料（１）７・市場に出せない野菜等を有効活用してほしい。
- 子ども食堂を行っている団体は、自分たちの地域での繋がりの中で行っている。また、フードバンクでは企業等の協力を得ていると聞いている。地域的なつながりのある団体のほうが多い。自主的な活動を支援しながら、機会があれば助言していきたい【事務局、指定管理者】
- ・当日資料（１）９・アイデアのたまごについて、幅広く取り入れてほしい。
- 提案団体について、提案者の提案内容や方向性の聞き取りのための打ち合わせを行ったり、関係部署を交えて実施方策を探ったりしている【指定管理者】
- ・（仮称）千葉ニュータウン中央駅前複合施設建設に当たって、市民活動支援センターの活動室拡幅等はあるのか。
- 専有面積や活動室の数などは現行どおり【事務局】。
- ・市民活動支援センター利用者の満足度は高いと思う。もっと評価されて良いように思う。

（２）令和５年度印西市市民活動支援センターの事業計画について

《事務局説明》

- ・資料２ 令和５年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業計画書について説明。

《委員質問》

- ・当日資料事前質問・意見一覧に基づき、質問や意見を共有。
- ・当日資料（２）１１・多様な団体と情報交換してほしい。
- ・当日資料（２）１２・現状で、週の勤務時間により社会保険加入が義務付けられている職員は加入させているのか。また、来館者数が想定を超えて現行の人員体制で運営が困難となった場合、どうするのか。
- 社会保険加入が必要な職員には、加入させている。体制としては常時２人以上の勤務。来館者数が想定を超えてしまい、現行の人員体制では運営できなくなる場合は、増員が必要となるため、指定管理料について市と指定管理者で別途協議することとなる【事務局、指定管理者】。
- ・当日資料（２）１５・千葉県最低賃金を踏まえているか、コーディネーターの人件費も含まれているか。
- 千葉県最低賃金を踏まえている。コーディネーターの人件費も含んでいる【指定管理者】。
- ・当日資料（２）１６・実施事業計画と収支予算書の整合性が取れていない。
- ・実施事業計画書と予算書については、対比して分かるように作成すべきである。

→計画時点ではだんごまつりを開催するか未定だった。整合性をとれてないことについては、確認不足だった。次年度は精査する【事務局、指定管理者】。

・当日資料（２）１７・昨年度の事務局の答弁では「年度に入り、事業計画を作成済みなので、反映できてない」とのことだった。現在の指定管理期間の指定が、印西市地域コミュニティ基本方針の策定前であることは昨年度も同じ状態だったはずである。

→コーディネート機能の強化として、市民活動支援センターを中心に、団体間の連携や市との協働の促進を図っていく【事務局】。

3 その他

・企画提案型協働事業の提案数８件を報告。次回の委員会の日時等を通知。

以上

令和５年６月２８日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和５年７月１９日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成